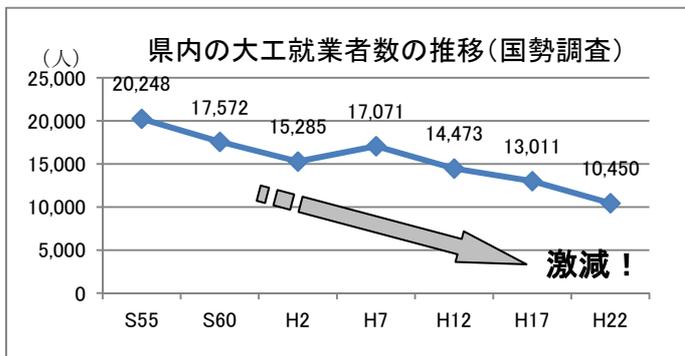


木造建築物の担い手確保に向けた啓発事業

長野県建設部建築住宅課

現状と課題



金銭的な負担等から、体力の落ちた業界だけの対応が困難!

- 木造建築物の担い手である大工就業者数が減少
- 全国の大工技能者の60歳以上の割合が28.3%に達しており、団塊世代の大量退職の影響が補いきれない状況
- 木造住宅の担い手である大工技能者の不足は、新築はもちろん既存住宅のリフォーム等、県民の住生活に重大な影響を及ぼす恐れがある

木造建築担い手育成啓発事業

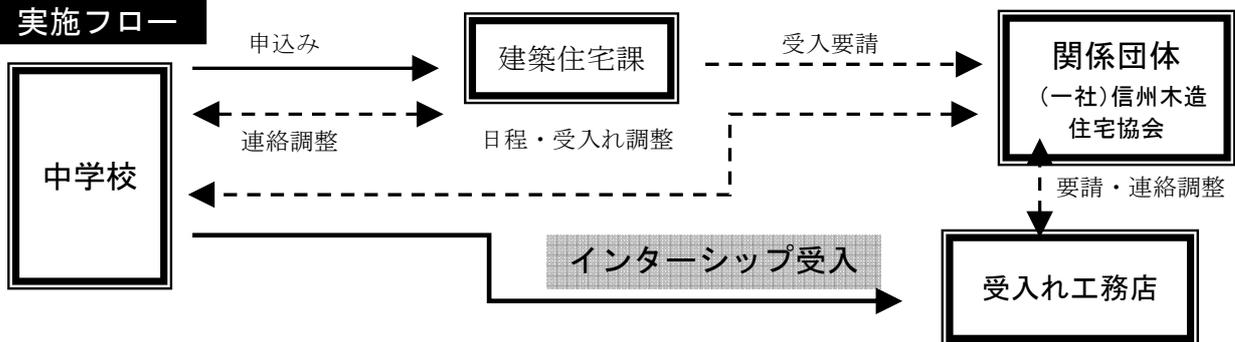
体験する

① 中学生の職業体験(インターンシップ)受入れを促進

- ✓ 関係団体と連携して中学生の職業体験(インターンシップ)の受入れ
- ✓ 工務店を調整

今年度の希望校を募集中です!

実施フロー



見る・触れる

② キャリア教育の一環として、中学校へ大工技能者を派遣

- ✓ 大工技能者の技能・技術を間近で見る機会を設定
- ✓ 大工技能者4名を派遣(県職員2名程度が補助)
- ✓ 木製椅子の組立作業(H29は材料提供あり)
- ✓ 木材カンナ削りの実演・体験指導等

今年度終了しました。次年度の要望をお聞かせください。

実施フロー

